

## データ記憶媒体

今月になって、いつも使っている Toshiba の 32GB SD カードが読み取り不調になった。結構、いろいろなデータが入っていて、ショックが大きかった。

それでネットを調べると、なんと「SD カードの寿命は 3 年」という記事を見つけた。

その構造は、フラッシュメモリーだから、電源を入れない状態で長期保存しておく、内部データが飛んでしまう。また使いすぎても、劣化して読み出し不調になってしまう、という。



もう、「データ保存には一体何がいいんだ」と調べる。

- ・ F D . . . . . 5 年（すでに使用されていない）
- ・ H D D . . . . . 5 年
- ・ S S D（半導体）. . . . . 5 年
- ・ S D カード . . . . . 3 年
- ・ M O . . . . . 10 年以上
- ・ C D . . . . . 10 年以上
- ・ D V D . . . . . 10 年以上
- ・ B D . . . . . 10 年以上

（以上、すべて、ベストな保存環境に置かれた場合）

などなど、^~^、 DVDでも、10年程度。どれも結構短いのだ。

それ以上に、それらを読みだす「ドライブ」が存在することが絶対条件になってくる。

そこで、保存の究極は「書いておくこと」のようだ。

フランスの洞窟には、20,000年前のクロマニオン人の描いた壁画が今も鮮明に残っているという。

う~ん、今手元にある相当量のデータを、紙ベースにするだけでも、気が遠くなりそう。

要するに、最低必要データは、常に複数のメディアにコピーして、定期的に更新していく、ということが現実的かもしれない。

中期的には、メーカーのクラウドを利用することも含めて。